



学生支援センタープロフィール
Student Support Center Profile
2020

学生支援センター
CONTENTS

02 組織・沿革

03 センター紹介

04 学生相談センター／Student Counseling Center

06 キャリアサポートセンター／Career Support Center

08 アビリティ支援センター／Ability Support Center

09 ピアサポート／Peer Support

10 全学活動

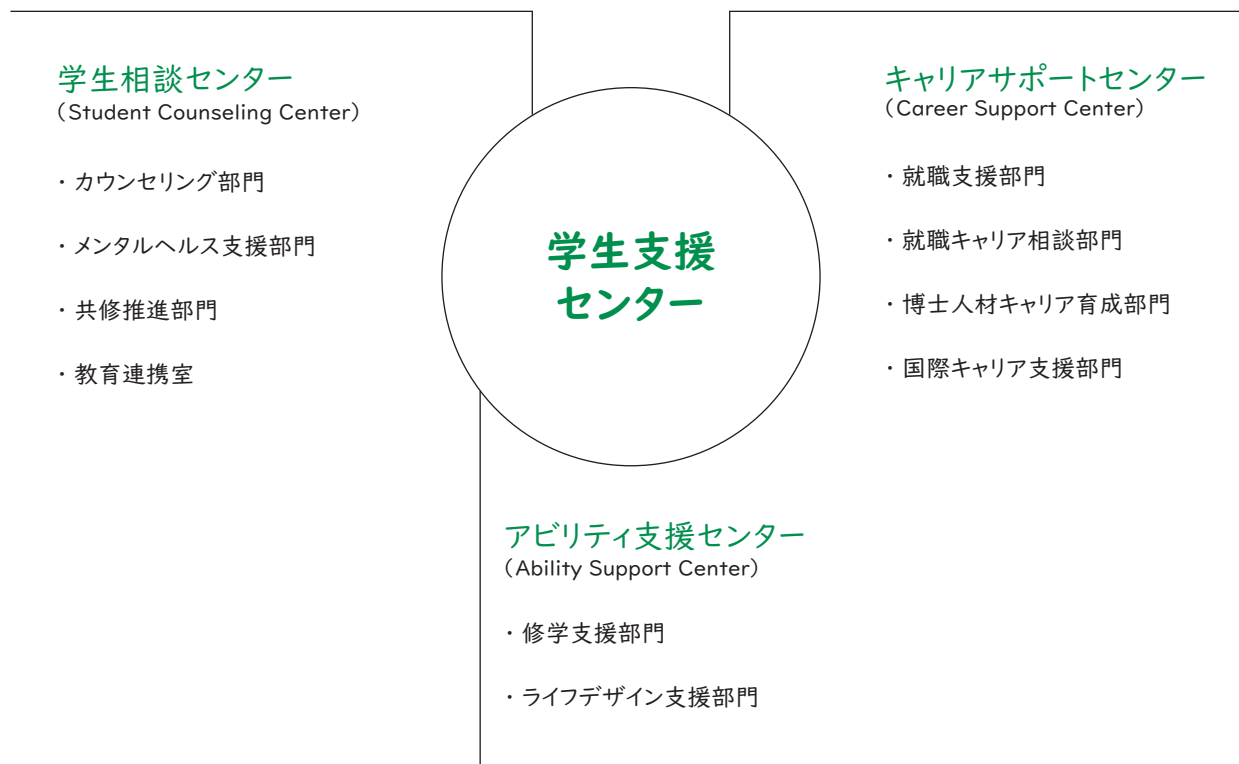
- ・ 新入生アンケート
- ・ 全学講義
- ・ FD活動
- ・ その他の学内イベント

15 地域貢献

- ・ 地域貢献事業
- ・ 同窓会支援事業
- ・ 講演
- ・ 学外イベント

18 東海国立大学機構における岐阜大学との学生支援連携

組織図



沿革

1956年 学生部により、週2時間の学生相談が開始される。

1964年 学生相談室を開設（兼任相談員1名）。

1970年 学生相談室に助手1名が着任。

1971年 保健管理室を開設、精神科医が着任。

1985年 学生相談室の相談員が2名体制になる。

1997年 学務部厚生課内にて週2回の就職相談が開始される。

[2000年 文科省「大学における学生生活の充実方策について -学生の立場に立った大学づくりを目指して-」報告。]

2001年 学生相談、メンタルヘルス支援、就職相談を統合し、学生相談総合センターが設置される（相談員6名）。

2006年 工学部7号館に本部2号館プレハブ棟より移転。

[2007年 JASSO（学生支援機構）「大学における学生相談体制の充実方策について」報告。]

2010年 障害学生支援室を開設。

[2013年 障害者差別解消法成立。]

2019年 学生相談総合センター（全学共同教育研究施設）から学生支援センター（全学運営組織）に改組。

2020年 工学部7号館から学生支援棟（旧職員クラブ）へ移転。

センター紹介

学生相談センター Student Counseling Center

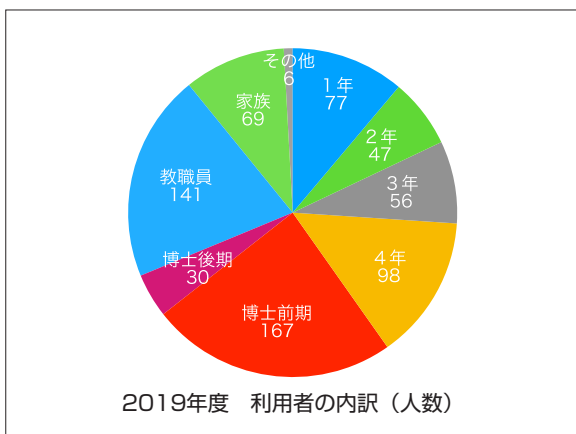
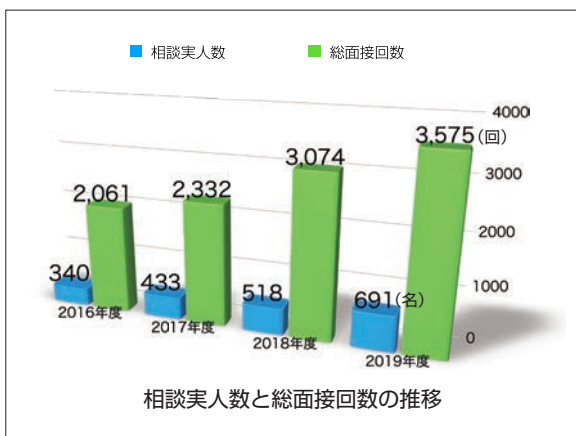
カウンセリング部門

Division of Student Counseling Services

- ・ カウンセリング部門は、臨床心理士等による学業・進路・対人関係といった学生生活上の悩みや課題について援助・助言を行います。
- ・ 全学学生のこころの健康や心理的成長について縦断調査を実施し、学生支援に活用しています。
- ・ こころの緊急支援を各部門や部局と連携して行います。
- ・ 個別相談以外にも、各種グループ活動（ゲームの会、読書の会、留年生の会）を実施し、話すことが苦手な学生に対する支援を提供します。
- ・ 学生相談サポーターの活動を指導しています。
- ・ 大学院生や新生を対象とした心理教育を行っています。
- ・ 教職員を対象としたFDを実施しています。

【相談例】

研究室における対人関係の悩み、友達関係や家族関係の悩み、講義や研究に対する無気力感、不登校や休退学、留年、進路変更、将来の不安、性のこと、しつこい勧誘、など。



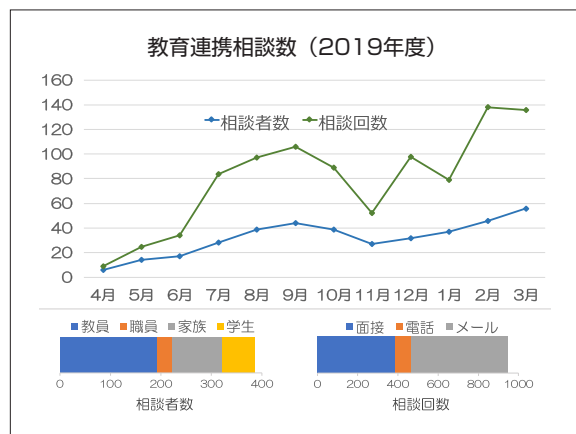
教育連携室

Faculty Consultation Services

- ・ 2019年に開設された教育連携室では、2名の臨床心理士が教職員・保護者（家族）専用の窓口として、学生にまつわる問題解決や学生の成長・発達の援助・助言を行っています。
- ・ 援助に際しては関係者（教職員・家族・各部局・内外の支援者・当センターの各部門）との連携・協働を重視し、そのための支援も行っています。
- ・ 心理教育
「名大いこまいセミナー」「心理ウェルネス・プログラム」「新生特別講義」など学生・教職員を対象とした各種心理教育プログラムを実施しています。
- ・ FD
部局や研究室を対象とした各種FDを実施しています。
- ・ 全学学生のこころの健康や心理的成長について縦断調査を実施し、学生支援に活用しています。
- ・ こころの緊急支援を各部門や部局と連携して行います。

【相談例】

学生のメンタルヘルス、不登校、適応、障害、無気力、休退学、留年、進路、指導、大学・研究室における人間関係など、学生にまつわることは何でも相談を受け付けています。



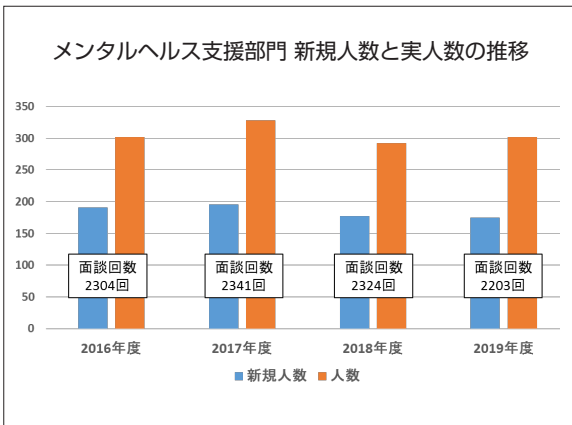
メンタルヘルス支援部門

Division of Mental Health Support

- ・メンタルヘルス支援部門は、3名の精神科医が学生の診察、精神療法などを担当し、薬剤の種類は限られますが簡単な処方（保健管理室）も行っています。
- ・保健管理室が行う健康診断を用いたスクリーニングによる早期介入、他の相談部門や外部医療機関との連携によるメンタル相談も行っています。
- ・コレクション自慢の会
それぞれの趣味やコレクションについて自由に語り合うことを通じ、参加者のみなさんの交流を深めていくことを目的とした会を月に一度の割合で開いています。

【相談例】

抑うつ・不安といった症状から、大学へいけない、対人関係の悩みなど幅広いです。学生の他にも、学生の指導にあたる教員および保護者の対応方法についての相談も行っています。



共修推進部門

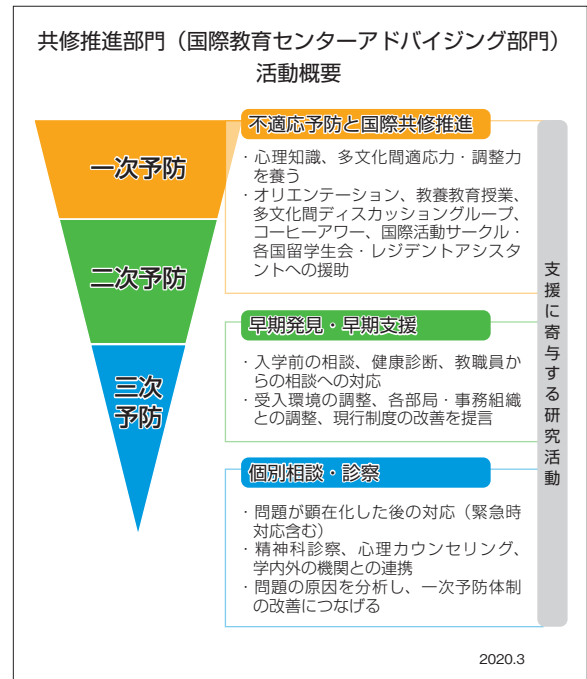
Division of Inclusive Learning

- ・共修推進部門は、国際教育交流センターアドバイジング部門の教員4名が兼務しており、留学生などの国際学生や日本人学生等、多様な文化背景を持つ学生たちと協力しながら、多文化共修・協働環境の整備にあたっています。
- ・精神科医による診察や治療、心理士によるカウンセリング、国際教育アドバイザーによる相談、学生組織との連携により、国際学生の新しい環境への適応を支援しています。

【相談例】

精神健康に心配がある、新しい環境に慣れるのが難しい、人間関係に悩んでいる、日本の福祉制度を利用したい、学内外で様々な人々と知り合い交流したいなど。日本語と英語で相談に対応しています。

【活動概要図】

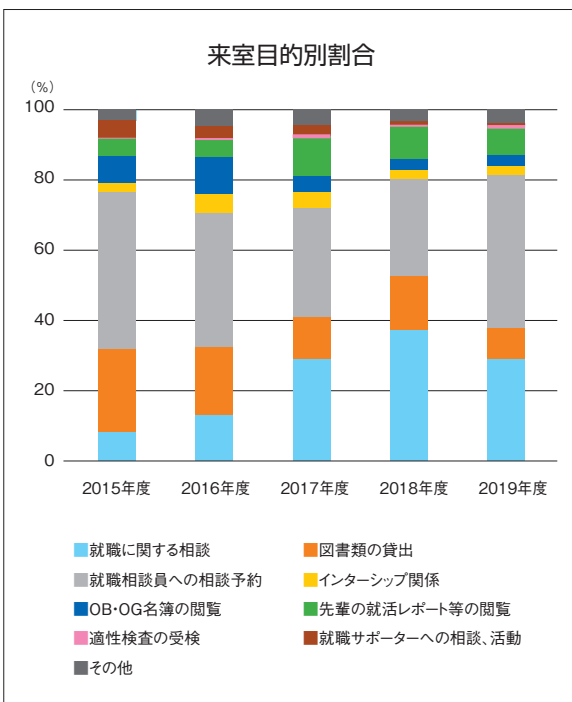
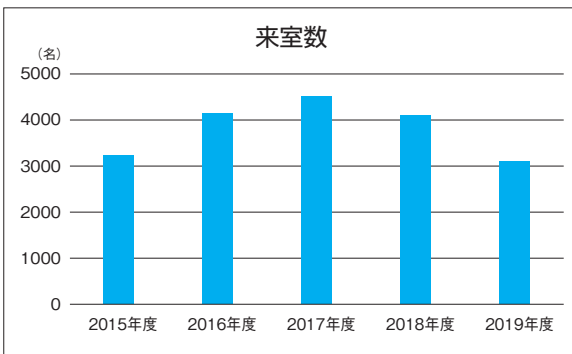


キャリアサポートセンター Career Support Center

就職支援部門

Division of Career Support

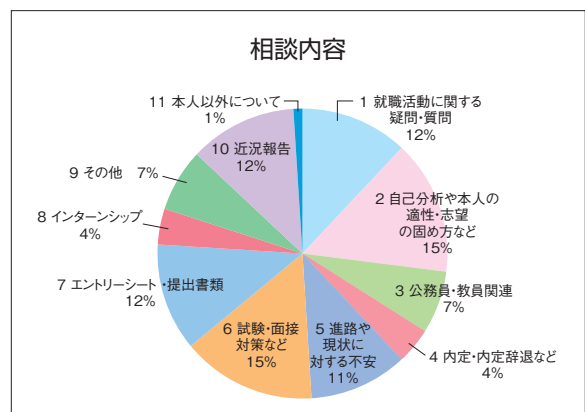
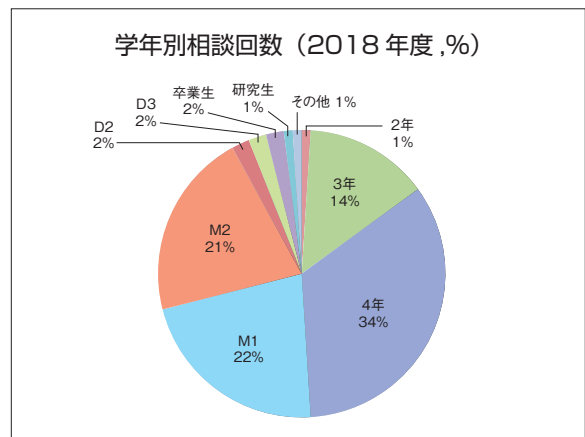
- ・就職活動やインターンシップ、進学に関する相談および情報提供を行います。将来を考えるきっかけを提供すべく低学年から参加できる全学年対象のキャリア支援企画、具体的な就職活動期を支援する就職活動支援企画など時期に適した多彩なイベントを開催しています。
- ・情報提供では、就職資料コーナーを設け、各種ガイドブック、先輩たちの就職活動を記載した就活レポート、OB・OG名簿の閲覧、職業適性診断システム（キャリアインサイト）等、就活する学生が自由に活用できるようにしています。また、求人票の閲覧・検索、イベント予約、個別相談予約、進路決定報告の入力、キャリアサポートセンターの来訪企業の確認等ができるシステムを構築し、学生の利便性を図る支援を行っています。



就職キャリア相談部門

Division of Career Counseling

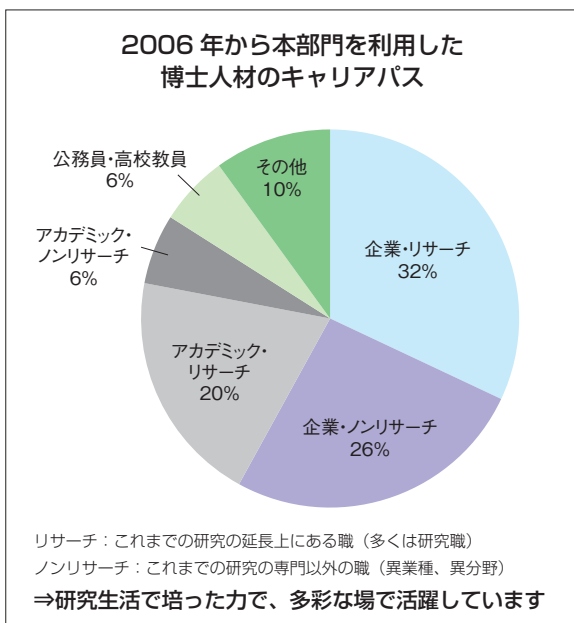
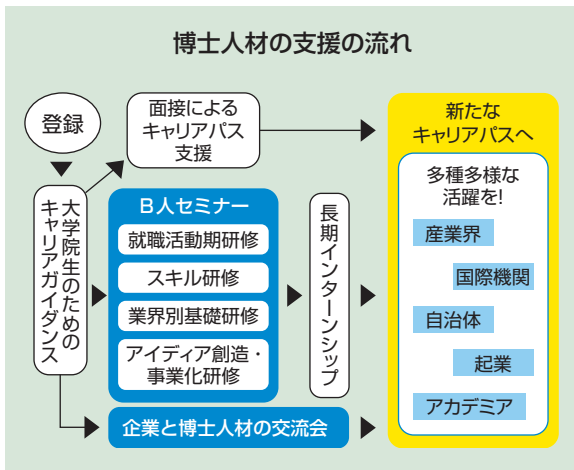
- ・3名のキャリアカウンセラーがインターンシップや就職活動上での面接対策やエントリーシートの書き方、企業選択、就職活動の方策から進路に関することまで丁寧に対応します。また、進学や就職、大学を卒業あるいは修了後の人生に関する悩みや不安、課題などについて、継続的なカウンセリングを行います。その中で今自分が何をすべきかなど見つめ直す、または新たな発見など社会へ育つ支援を行っています。
- ・学内インターンシップ（ワークエクスピリエンス）の実施や学外就労支援専門機関と連携し、障害圏域の学生に就業経験を通じて自己理解の醸成や就業への橋渡しを行っています。
- ・個別相談以外に、就活サロンやステップバイステップなど、集団相談会やグループワークを開催し、時期や学生の特性に合わせた進路獲得支援を継続しています。
- ・様々な学部・研究科等とガイダンス講義や就職支援講座開催で協同しています。
- ・進路決定した学生による就活生支援グループ「就活サポーター」の活動支援・指導を担当しています。



博士人材キャリア育成部門

Division of Doctoral Student Career Development

- ・博士課程教育推進機構 キャリア教育室と連動しています。
- ・博士後期課程学生やポスドク（博士人材）や博士後期課程に進学希望の学生を中心としたキャリアパス支援をしています。
- ・キャリアガイダンス、個人面談を中心に、キャリア形成の講義、セミナー、博士のインターンシップ、企業との出会いの場である「企業と博士人材の交流会」を開催しています。
- ・専門性はもちろん、多様な能力を培ってきたのが博士人材です。アカデミックポジション以外にも、多彩な業界や職で活躍するのを支援しています。
- ・相談希望者は（HP=<https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/>）よりオンライン登録をしてください。

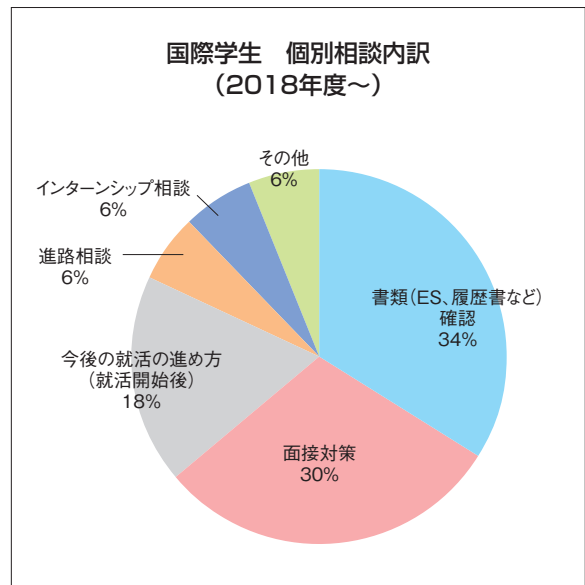


国際キャリア支援部門

Division of Career Support for International Students

- ・外国人留学生や海外留学経験のある国内学生に特化した就職・キャリア支援を行っています。
- ・個別キャリア相談への対応、グループカウンセリング、企業と連携した課題解決学習（ビジネスワークショップ）、合同企業説明会、インターンシップなど、国際的なキャリア形成に関心を持つ学生に対し、様々な教育機会を提供しています。

	2018年度	2019年度	合計
	件数	件数	
書類（ES、履歴書など）確認	195	133	328
面接対策	146	141	287
今後の就活の進め方（就活開始後）	71	105	176
進路相談	37	18	55
インターンシップ相談	16	41	57
その他	25	36	61
合計	490	474	964



アビリティ支援センター Ability Support Center

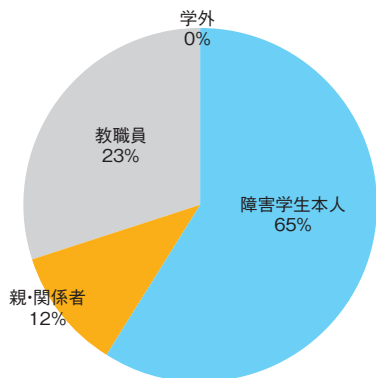
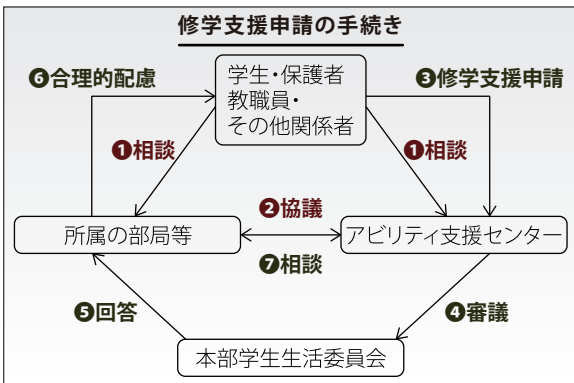
修学支援部門

Division of Academic Learning Services

- ・アビリティ支援センター修学支援部門では相談員（特任准教授、障害者支援専門職、障害学生支援コーディネーター）3名が、障害のある学生と所属部局等を対象に、障害の有無に関わらず、その能力を適切に発揮できるような修学支援にあたっています。
- ・活動の1つは、どの学生にとっても使いやすいキャンパス作りのためのユニバーサルデザイン化を推進することです。もう1つは、それぞれの学生の個別の困難に応じた修学上の調整である、合理的配慮の提供に関する支援を行うことです。
- ・修学支援を行う学生サポーターを育成するために、障害学生支援レクチャーシリーズ、修学支援スキル講習会、障害理解深まる映画の会などを行っています。
- ・また、各部局における障害学生への対応や関わり方についての相談、助言なども行っています。
- ・学生に対する啓蒙として、学生対象セミナーも毎年開催しています。

【相談例】

障害を考慮した座席指定、試験時間延長、補助器具使用、資料作成・配布、研究上の指導・助言などに関する配慮（調整）について、災害時の避難方法について、キャンパス整備における設備について、など



相談者の内訳

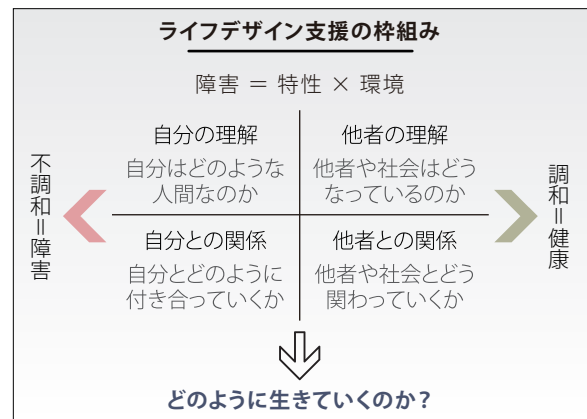
ライフデザイン支援部門

Division of Life Design Support

- ・アビリティ支援センターライフデザイン支援部門は、相談員（特任准教授、障害者支援専門職、障害学生支援コーディネーター）3名が、障害のある学生の生活に根ざした問題の支援を行なう、新設部門です。障害のある学生が自分の特性や困難をどのように理解し、どのようにその改善を図るか、あるいはどのような環境を好ましく思うか、それらを踏まえてどのようにして社会の中で生きていくか、といったライフデザインの支援を行います。障害に由来する課題と青年期としての課題との重なり合う状態を、学生個人個人が自分なりに納得できる形でこなしていくことを支えます。
- ・現在行っている活動の1つは、大学生としての学習の仕方を参加メンバーが持ち寄り、共有する、「大人の勉強studyグループ」です。週1回、4、5人の学生が同じ空間で自習し、勉強の仕方について、各自の抱えるテーマについて情報交換をしています。今後、日常生活における困難や生活能力を高めるための工夫を共有する場、自分と周囲の環境、両者の関係性について学ぶ場などを作っていきたいと思っています。加えて、従来どおりの個別の相談による支援も提供されます。
- ・ライフデザインについての情報発信も行う予定です。たとえばしばしば問題となるスケジュール管理や整理整頓の方法やノウハウ、小技、あるいは周囲の人との意図や前提の食い違いの緩和の仕方といった情報を、誰にとっても役立つ形で発信する予定です。

【相談例】

親子関係、障害特性や性格についての理解や対応、自分に障害があるかどうか、どんな仕事に向いているか、などについて（それぞれ関係他部門との連携をしています）



1. 学生相談サポーター



学生相談サポーターの活動は、2004年にスタートし、今年で16年目を迎えました。2019年度のサポーター数は13名、その多くは教育発達科学研究科の大学院生です。4月の新入生サポートから始まり、授業期間中の水曜日午後中央図書館学生相談ブースにて活動しています。活動開始当初、学生相談サポーターの活動の柱は対面相談でしたが、有志のサポーターが2011年から紙媒体による2つの活動を開始しました。悩みや相談事を紙に書いて投稿する「ピアサポスト」と、中央図書館に設置されたノートに書き込まれたつづやきに答える「つづやきノート」です。この2つを併せると、利用件数は年に400件以上になっています。最近では、音楽配信サービスを利用した「学サポプレイリスト」を作成、配布するなど、各サポーターの得意分野を生かした発想力で、日々新しい活動を模索しています。

2. 就職活動サポーター



「就活サポーター」は2002年度から活動を続け、進路が決まった卒業期の学生たちがこれから就活に入る学生（プレーヤー）を支援しています。2019年度は37名が10月から卒業直前まで活動しました。キャリアサポート室の資料コーナーが活動場所です。主な活動は、就活生に自分たちの体験を伝えながら相談に対応することです。そのために相談対応やサポーターとしての倫理について研修を通じて学び、サポーターとプレーヤーの双方が安心して対面できる体制を整えています。その他にも座談会や面接対策会など自分たちの経験を生かしたグループワーク活動も提供しています。就活サポーターはプレーヤーの支援にあたり、進路を決定してきたこれまでの活動を振り返り、社会に出て行く自覚を醸成する活動でもあります。設立以来の多くの卒業生との交流や、卒業生自身が互いを刺激しながらキャリアについて考えるネットワークが育っています。

3. 障がい学生支援サポーター



学生サポーターの集まり「air（あいる）」は2010年度から活動をしていて、2019年度は女子16名、男子7名、留学生9名の構成となっています。アビリティ支援センターを中心に活動していますが、実際の活動場所はキャンパス内に広がっています。主な活動の1つは、障害のある学生の修学支援の補助で、講義や行事などでのノートテイク、キャプションングなどを行っています。そのためレクチャーやスキルアップの講習会などにも参加して、支援の体制を整えています。2019年度は学内のセミナーでキャプションングによる情報保証を行いました（写真左隅の2人）。airのメンバーはサークルのように、自主的に活動の方向性や内容をミーティングで決め、アビリティ支援センターと協力しながら活動に当たってくれています。最近では、ニュースレターの発行、手話の勉強会、ウェブサイトでの情報発信などを熱心に行っています。

2019年度ピアサポート全体での活動

- ・愛媛で開催された「ぴあのわ」にサポーター6名、教員4名で参加しました。（2019/12/7,8）
- ・岐阜大学ピアサポートの授業にサポーター4名が参加し体験談を語りました。教員3名も参加しました。（2020/1/14）
- ・東京大学ピアサポーターと東京工業大学学生支援センター自律支援部門のみなさんにご訪問いただきました。（2020/2/12）

全学活動

新入生アンケート

本学では、心の健康状態の早期発見・早期支援の一環として、2014年度より新入生アンケートを実施しています。またこの数年は、来談学生が急増しており、1次支援強化策として2019年度から新入生アンケートの充実を図っています。新入生アンケートの特徴は以下です。

- 1) 心理的基盤（基盤データ）、心理的リスク（リスクデータ）と発達障害傾向（特性データ）を把握できる質問項目から構成されており、学生の心理的特徴が詳細に把握でき、支援時の情報として有効活用できます。（図）
- 2) フィードバック希望学生には、フィードバック用紙（図）を対面で返却、必要に応じて個別面接を実施でき入学早期に学生支援センターと繋がるができます。
- 3) 各部局 FD などによって、教職員が当該部局の学生について特徴を理解することが可能であり、教育や学生対応に活かすことができます。
- 4) センターにおいて、部局の学生特徴に応じた支援や介入の提案などが可能です。

主な使用尺度（困り感尺度以外は国際尺度）

1. 心理的基盤に関する尺度（項目は一部）
 - 自尊感情** 「私は、自分自身にだいたい満足している」
「自分は少なくとも他の人と同じくらい価値のある人間だと感じている」
 - 人生満足度** 「私は自分の人生に満足している」
 - 社会的サポート** 「私には困ったときにそばにいてくれる人がいる」
「私には私の気持ちについて何かと気遣ってくれる人がいる」
2. 心理的リスクに関する尺度
 - 抑うつ** 「好ましくないことを考えてしまい、コントロールできない」
「死にたいと考えることがある」
 - 全般性不安** 「心配していることがたくさんある」
「恐怖やパニックに陥ることがある」
3. 発達障害傾向に関する尺度
 - 自閉スペクトラム症（ASD）尺度（AQ）**
「私は、あることにとても強い興味を持つ傾向があり、追求することができないと困惑してしまう」
「私は、人の意図を分かるのが難しい」
 - 困り感尺度** 「衝動的に行動してしまい困る」
「グループ活動では居ごちが悪くて困る」
「忘れ物が多くて困る」

アンケート結果の活用：学生へのフィードバック

フィードバック希望学生数（2019年度実績）
学部 521名（25.0%） / 院生 44名（24.4%）
※ NUCT および全学メールアドレスを通じて希望学生に連絡
・各学生の結果をレーダーチャートに示し、支援センター受付にて配布
・支援が必要と思われる学生については、カウンセラーが対応

名が都大学 学生支援センター
2019年度 新入生アンケート結果

自尊感情指数	2.80	安心指数	2.73
人生満足度指数	2.70	社会的サポート指数	2.81
抑うつ指数	2.81	全般性不安指数	2.82
発達障害傾向指数	2.76	困り感指数	3.18
不安指数	2.62		

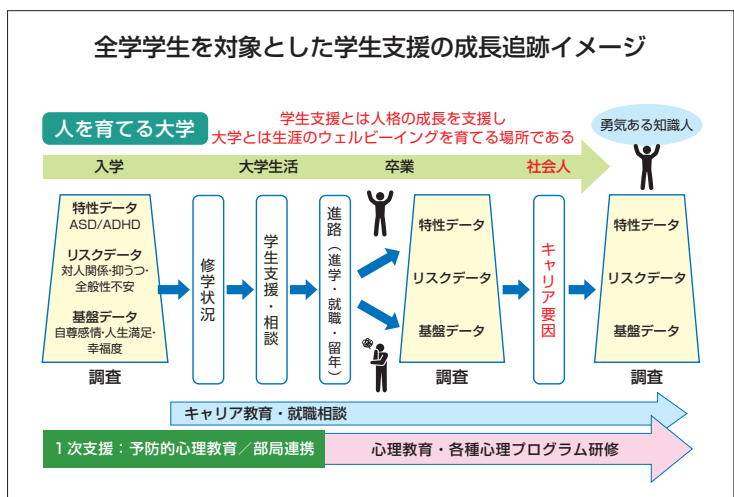
スカラーについて
アンケート結果に基づき、各学生の心理的特徴を把握し、その結果に基づいて適切な支援を行う。この結果に基づいて、各学生の心理的特徴を把握し、適切な支援を行う。この結果に基づいて、各学生の心理的特徴を把握し、適切な支援を行う。

主な結果（2019年度、一部）

- 1) 学部生：心理的基盤、心理的リスクについては、概ね他大学平均値と同様の傾向にあったが、要支援学生は一定数在籍していることが示唆され、発達障害傾向学生も一定数在籍している可能性が示唆された。
- 2) 大学院生：学部生に比していずれの尺度においても、要支援学生の在籍率が高い可能性が示唆された。
- 3) 自尊感情とソーシャルサポートの要因が抑うつ、不安や人生満足度に影響することが示され、自尊感情やサポートされている自覚を促進するような教育の重要性が示唆された。
- 4) フィードバック希望学生は学部において25%、大学院において24%と一定数の学生が自分の心理的特徴について意識し関心を向けている可能性が示唆された。

今後の計画

今後は 大学院新入生も対象とすること、また縦断的調査実施によって、大学生活における心理的成長を追跡し、結果を広く教育や支援に活用し、学生の心理的成長やウェルビーイングの向上に貢献してゆく計画です。



全学講義

科目名称	対 象	担当者
新入生特別講義「大学生生活入門」	学部新入生必修1コマ	学生支援センター（センタースタッフ）
青年期を考える —心の健康と将来展望—	全学教育	学生支援センター （センタースタッフオムニバス）
大学でどう学ぶか	全学教育	キャリアサポートセンター（船津静代）
キャリア形成論	全学教育	キャリアサポートセンター（森典華・船津静代）
Introduction to Career Development Theory	G30 / 全学教育	キャリアサポートセンター（坂井伸彰）
エンプロイアビリティ	大学院共通	キャリアサポートセンター（森典華・船津静代）
基礎セミナーB	全学教育	カウンセリング部門・教育連携室 （鈴木健一・杉岡正典・松本寿弥）
ピア・カウンセリング	全学教育	学生支援センター （鈴木健一・船津静代・松本寿弥）
健康スポーツ科学（精神医学）	全学教育	メンタルヘルス支援部門（古橋忠晃）
文化事情2（フランス）後期	全学教育	メンタルヘルス支援部門（一部担当） （古橋忠晃）
学校心理学Ⅲ	教育発達科学研究科	カウンセリング部門（杉岡正典）
学校心理学Ⅱ - 精神分析臨床	教育発達科学研究科	カウンセリング部門（鈴木健一）
キャリアデザイン演習	教育学部	キャリアサポートセンター（一部担当） （船津静代）
プロフェッショナル・リテラシー	大学院共通	キャリアサポートセンター （森典華・船津静代） 学生相談センター（鈴木健一・松本寿弥）
留学生と日本	全学教育	国際教育交流センターアドバイジング部門 共修推進部門（一部担当） （和田尚子・高木ひとみ）
Exploration of Japan : From the Outside Lookig Inside	G30 / 全学教育	国際教育交流センターアドバイジング部門 共修推進部門（高木ひとみ）

FD 活動

2019 年度の教職員を対象とした FD は「今年度入学生の特徴と教職員対応のコツ」と題して、新入生アンケート結果を中心に本学学生における心の健康状況を報告し、学生対応について FD を行いました（国際開発研究科においては「国際学生からの相談傾向」について）。

全 15 部局（研究所含む）において FD を実施し、計約 730 名の教職員が参加。本学学生の理解促進に貢献することができたと考えています。

FD 活動一覧

部 局	日 時	テーマ	参加人数
教養教育院	4 月 8 日（木）	名大生とかがわる～教員・学生双方の進化を目指して～ (Engaging Meidai Students: Pursuing Mutual Advancement of Faculty and Students)	
情報学研究科	4 月 17 日（水）	新入生の心理的特徴と学生対応	80 名
多元数理科学研究科	5 月 22 日（水）	新入生の心理的特徴と学生対応	37 名
環境学研究科	6 月 5 日（水）	新入生の心理的特徴と学生対応	80 名
教育発達科学研究科	6 月 12 日（水）	新入生の心理的特徴と学生対応	42 名
人文学研究科	6 月 19 日（水）	新入生の心理的特徴と学生対応	94 名
理学研究科	6 月 20 日（木）	新入生の心理的特徴と学生対応	43 名
医学系研究科（鶴舞）	7 月 3 日（水）	新入生の心理的特徴と学生対応	64 名
工学研究科	7 月 17 日（水）	新入生の心理的特徴と学生対応	116 名
法学研究科	7 月 24 日（水）	新入生の心理的特徴と学生対応	47 名
生命農学研究科	8 月 29 日（木）	新入生の心理的特徴と学生対応	47 名
国際開発研究科	9 月 13 日（金）	国際学生からの相談の傾向	15 名
医学部保健学科	9 月 18 日（水）	新入生の心理的特徴と学生対応	46 名
創薬科学研究科	10 月 17 日（木）	新入生の心理的特徴と学生対応	22 名
経済学研究科	12 月 11 日（水）	新入生の心理的特徴と学生対応	34 名
創薬科学研究科	12 月 19 日（木）	新入生の心理的特徴と学生対応	22 名
理学研究科	12 月 20 日（金）	新入生の心理的特徴と学生対応	43 名
宇宙地球環境研究所 未来材料・システム研究所 環境医学研究所	1 月 22 日（水）	新入生の心理的特徴と学生対応	42 名
多元数理科学研究科	2 月 12 日（水）	新入生の心理的特徴と学生対応	37 名

その他の主な学内イベント

開催日	イベント(研修会)名	対 象
毎月1回開催	コレクション自慢の会	全学生
毎週水曜日	ゲームの会・読書の会	全学生
随時	学内部局就職ガイダンス	全学生
随時毎月第3木曜日	ステップバイステップ	全学生
随時	留年会	全学生
2019年4月4日	「フレッシュマン応援 Day」 主催:名古屋大学学生相談サポーター	全学生
2019年5月1日	嚶鳴館新寮生相談会	嚶鳴館新寮生
2019年8月7日～9日	オープンキャンパス相談会	高校生とその保護者
2020年2月12日	「発達障害当事者が語る理想の大学作り」	全学生、教職員
2019年5月15日から全5回	障害学生支援レクチャーシリーズ	全学生
2019年5月20日から全16回	修学支援スキル講習会	全学生
2019年10月30日から全5回	いこまいセミナー	名大・岐大の学生、教職員
2019年11月6日から全11回	OBOG 座談会	就活学生
2019年12月4日・12月18日	内定者座談会	就活学生
2020年1月9日から全5回	就職活動準備講座	就活学生・企業
2020年1月22日・23日	学内個別採用選考会	就活学生・企業

共修推進部門(国際機構国際教育交流センターアドバイジング部門として開催した行事)

開催日	イベント(研修会)名	対 象
2019年4月6日および10月5日	留学生のためのバザー(春学期)	外国人留学生・家族
2019年4月17日から全4回	おりがみ教室	全学学生
2019年5月21日から全9回	国際教育交流センター ワークショップ(華道)	全学学生
2019年5月27日、30日 および秋学期	引越しオリエンテーション(春学期)	外国人留学生
2019年7月・12月	プレゼンテーション アワー	全学学生
2019年9月21日	ホストファミリー学習交流会	ホストファミリー
2019年4月16日～7月25日の 毎週火曜日・木曜日	NUFSA 留学生の家族のための日本語・ 日本事情コース(春学期、名古屋大学 留学生会主催行事の運営)	外国人留学生・教職員の家族
2019年10月4日	国際教育交流担当者 RA・教職員研修 (LGBTQ+について対人援助職の視点 から伝えたいこと)	RA、教職員
2019年11月11日	RA防災研修	RA
2020年2月6日	確定申告セミナー	外国人留学生・教職員
2019年10月17日～2020年2月18日	NUFSA留学生の家族のための 日本語・日本事情コース(秋学期)	外国人留学生・教職員の家族
年間約5回	ホームステイプログラム(地球家族プログラム)	外国人留学生
年間6回	スモールワールド・コーヒーアワー	全学学生

地域貢献

地域貢献事業・同窓会支援事業

2019年度には、名古屋大学地域貢献事業の助成を受けて「障害者支援の「隙間」を埋める地域-大学-企業フォーラム」および「障害学生就労支援研修会」を開催しました。

また同窓会支援事業の助成を受けてホームカミングデイの全学企画として「明日の歌を唄おう」を開催しました。

**障害者支援の「隙間」を埋める
地域-大学-企業フォーラム**

◎名古屋大学

名古屋大学
地域貢献
特別支援事業

令和元年 **11月15日** (金)

11:00-17:00

午前の部
当事者・支援者の語り

午後の部
「隙間」を埋めるワークショップ

定員：50名 参加無料

主催：名古屋大学学生支援センター
協力：岐阜大学サポートルーム
後援：名古屋市

同じ一人の障害を持った個人であるのに、生活、修学、就労それぞれ領域で、「利用できる支援が違う」、「支援の連続性がない」、「一から説明しないといけない」、「あっちとこっちで勝手に違う」、そんな悩みを耳にしませんか？
たくさんの方が準備されてきたけれども、どれも少しずつ隙間が空いている。その支援の「隙間」を埋めること、一緒に考えてみませんか。

名古屋大学 地域貢献事業

障害学生 就労支援者研修会

第1回目 2019年 8月8日(木)
第2回目 2019年12月13日(金)
14:00~17:00

場所 名古屋大学東山キャンパス
NIC館 大会議室

対象 大学の障害学生支援担当者
企業の障害者採用担当者
地域の障害者支援機関の皆様

参加費 無料

*2回の研修は連続講義です。
1回の参加も可能です。

各日の進行予定の詳細及び申し込み方法は、裏面を参照ください。

主催：名古屋大学学生支援センター
協力：岐阜大学

名古屋大学学生支援センター
ホームカミングデイ特別企画

19年10月19日(土) 13時~16時
ナショナル・インベンション・コンプレックス (NIC) 1階 Idea Store

明日の歌を唄おう

センターが関わった学生の保護者から、その経験について
ご講演をいただき、発表者を読んでコンサートつき茶会を行います。

第一部 家業と語る大生復活話
13:00 開会挨拶
13:10 傷名生全の復活話(と語り)
14:20 オープントーク

第二部 個別相談＆アンケート交流会
15:00 個別相談会/アンケート回収交流会

コンサート出演：
まほろしとカゲ
(※センター職員有志の音楽ユニット)

事前予約制 (定員80名)
どなたでもご参加いただけます。
申し込み ホームカミングデイHPよりお申し込みください。
http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/home-coming-day/hcd_15/

または以下の内容をご記入の上、メールにてご予約ください。
お名前 相談の希望の有無・相談希望
コンサートのリクエスト曲の曲名(曲にまつわるコメントあれば)
gakuho.stm@nagoya-u.ac.jp
締め切り 2019年9月30日(月)

Nagoya University
80th Anniversary
1939-2019

主な講演

開催日	講演会	講演者	対象
2019年5月21日	グラスゴー大学 GPPC's seminar (グラスゴー、英国) 「日仏のひきこもり現象」	古橋忠晃	スコットランドの精神科医 心理士、心理学科、学生など
2019年7月23日	Japan-UK Hikikomori Workshop(名古屋大学) 「『ひきこもり』の状態の評価について」	古橋忠晃	名古屋大学学生支援関係者
2019年7月26日	第24回国立七大学安全衛生管理協議会(名古屋大学)	古橋忠晃	国立7大学の医師、安全管理に従事する教職員
2019年9月7日	第43回日本自殺予防学会総会講演(南山大学) 「大学生の『ひきこもり』と自殺について」	古橋忠晃	学会参加者
2019年10月3日	公益社団法人全国重度障害者雇用事業所協会主催 障害者特別雇用セミナー「障害者雇用と定着について」	工藤晋平	地域の事業所、企業
2019年10月26日	第7回成人発達障害支援学会(金城学院大学) 「大学生の発達障害と『ひきこもり』について」	古橋忠晃	学会参加者
2019年11月20日	名古屋市「ゲートキーパー研修」 「自殺に傾いた人たちの支援を考える」	松本寿弥	名古屋市職員(生活保護の事務に携わる者)
2020年12月6日	岐阜大学岐教職員FD「大学院学生のキャリア支援の経験と課題」	森 典華	岐阜大学岐教職員
2020年1月25日	L'Association Corse Equilibre et Santé Mentale講演会(バステア、フランス) 「日仏のひきこもり現象とフランスにおける訪問診療活動」	古橋忠晃	南仏の精神科医、心理士、看護師、大学教員など
2020年2月14日	名古屋市立大学全教職員FD 「学生相談・学生支援の現状と課題」	鈴木健一	名市大教職員
2020年2月27日	愛知県弁護士会「自殺予防週間における全国一斉『暮らしとこころの相談会』学習会」「臨床心理士とこころの仕事を考える」	松本寿弥	愛知県弁護士会会員弁護士

主な学外イベント

開催日	講演会	対象
毎月15日(8月を除く)	学生相談ケース検討会開催(主催:学生相談ケース検討会)	愛知・岐阜・三重県の学生相談カウンセラー
毎月第2週木曜日(3月を除く)	東海地区国立大学就職相談ケース検討会	愛知・岐阜・三重・静岡県国立大学就職相談員
毎月第4週火曜日(3月を除く)	東海地区国立大学就職支援担当者情報交換会	愛知・岐阜・三重・静岡県国立大学就職支援担当者
2019年5月10日	第3回企業と大学との障害学生就職についての意見交換会	地域国公私立大学・企業
2019年5月17日および 11月8日	春季・夏季外国人留学生インターンシップ説明会	愛知県内の大学等(短大、大学、大学院及び高等専門学校)に 在籍、又は県外の大学等に在籍するが県内に在住する外国人 留学生全学年
2019年6月18日	愛知県主催「留学生採用講座」	愛知県内企業
2019年8月1日	第4回企業と大学との障害学生就職についての意見交換会	地域国公私立大学・企業
2019年8月8日	障害学生就労支援者研修会	地域国公私立大学・企業
2019年8月7日～9日	オープンキャンパス保護者向け就職支援体制講義(理学部)	高校生とその保護者
2019年9月26日	障害学生への学内就労支援報告会	企業・障害者支援機関・障害者教育関係者
2019年10月19日	ホームカミングデイ保護者体験談	保護者、一般
2019年10月19日	ホームカミングデイ結うサポ OBOG企画「これからのキャリアを語ろう」	卒業生・本学学生
2019年10月、11月	外国人留学生のための「知っておきたい、労働法規の基礎知識」(計2回)	名大、岐大、名工大、名城大、南山大、県大在籍の 留学生全学年
2019年10月～1月	日本企業で働きたいあなたに贈るキャリア教育プログラム「日本企業を知る」(計8回)	名大、岐大、名工大、名城大、南山大、県大在籍の 留学生全学年
2019年11月1日	第5回企業と大学との障害学生就職についての意見交換会	地域国公私立大学・企業
2019年11月14日	シンポジウム「留学生の活躍×企業と地域の活性化を考える」	名大、岐大、名工大、名城大、南山大、県大在籍の 留学生全学年・企業
2019年11月15日	地域貢献特別支援事業「障害者支援の『隙間』を埋める地域-大学-企業フォーラム」	地域の事業所、他大学の関係者、企業、学内の関係者
2019年11月16日	こころの絆創膏セミナー	愛知県の大学教職員
2019年11月13日・27日	留学生と考える グローバルビジネス ワークショップ	全学年留学生
2019年12月13日	第4回障害学生就労支援者研修	地域国公私立大学・企業
2020年1月23日	留学生×中部経済同友会「意見交換&懇談会」	名大、岐大、名工大、名城大、南山大、県大在籍の 留学生全学年
2020年1月31日	外国人留学生のためのJob Fair 2020 企業対象事前セミナー	外国人留学生のためのJob Fair 2020 参加企業
2020年2月7日	第6回企業と大学との障害学生就職についての意見交換会	地域国公私立大学・企業
2020年2月9日～10日	外国人留学生のためのJob Fair 2020	名大、岐大、名工大、名城大、南山大、県大在籍の 留学生全学年
隔週	キャリアランチ交流会	国際学生(留学生・帰国学生など)全学年

東海国立大大学機構における 岐阜大学学生支援との連携

東海国立大学機構設置に向けて、両大学の学生支援関係者も学生支援における連携について2019年度より現場レベルでの検討を重ねてきました。

既に、両大学ではいくつかの学生支援活動において連携しておりますが、以下に示す両大学における学生支援連携の基本理念を共有した上で、新たな取り組みを拡げてゆきたいと考えています。

それによって、両大学学生のより良い学生生活やウェルビーイングの向上、そして青年を育てる地域への貢献に繋がるものと考えております。

学生支援における連携の基本理念

東海国立大学機構における両大学は、全ての学生を対象として、研究・教育に加え、学生個人の生涯発達とウェルビーイングの向上を支え、心身ともに健康で、豊かな人間性を備えた未来に貢献する人を育てる環境を両大学学生に提供する。

また、地域の青年を育てるための実践研究拠点として、世界トップ水準の研究・教育とそれを支える次世代の新たな学生支援体制を構築し、地域貢献に努める。

主な連携の紹介

1. 不登校・ひきこもり学生の連携支援

両大学における不登校・ひきこもり等修学上の困難を抱える学生に対して相互利用可能な居場所を提供し、両大学で復学支援を実施する。

2. 就労支援における企業・地域連携システムの協働構築

就労支援において、合同説明会、障害学生就労支援等を協働して実施する。

3. 心理教育プログラムの共同開発と実践。

心理教育プログラムの両大学での共有と両大学学生の参加。

4. 心の健康に関する調査研究データベース構築。

大学生（青年期）の心の健康と支援に関する共同基礎研究。

5. ピアサポーターの養成と交流

6. 教職員対象 FD 教材の共同開発と共有

7. 地域貢献事業の共同開催





名古屋大学 学生支援センター

学生支援棟

- ・学生相談センター
- ・キャリアサポートセンター
- ・アビリティ支援センター

東山キャンパス保健管理室

- ・メンタルヘルス支援部門

開室時間

月～金曜日 10:00～17:00 (祝日除く)

連絡先

TEL 052 (789) 5805

E-mail

soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp

住所

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学学生支援センター

ホームページ

<http://gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp>